

会 議 録

1 会議名

令和3年度第7回三和区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）協議事項（公開）

- ・三和区地域協議会で定める事項（傍聴人の定員）について
- ・三和区地域協議会だより発行に関する事項について

（2）その他（公開）

- ・消防団の再編について
- ・2022年第14回えちご・くびき野100Kmマラソン三和部会における部会員の推薦について
- ・三和区青少年育成会議との意見交換会について

3 開催日時

令和3年12月16日（木）午後6時30分から午後7時00分まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田英利、池田輝幸、江口晃、小山田幸雄、金井茂康、小林則子、高橋鉄雄、田辺敏行、富村広文、星野幸雄、松井隆夫、松栄由里、宮澤克己、森由美
（14人中14人出席）
- ・事務局：三和区総合事務所 金子所長、岩崎次長、丸田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、小山地域振興班長、渡辺主任

8 発言の内容（要旨）

【岩崎次長】

- ・会議の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める。

【高橋会長】

－挨拶－

- ・協議会終了後に勉強会を実施する。
- ・会議録の確認を、池田輝幸委員に依頼する。

【高橋会長】

3 協議事項に入る。(1)三和区地域協議会で定める事項(傍聴人の定員)について、事務局の説明を求める。

【小山班長】

- ・資料No.1により説明。

傍聴人の定員については、三和区地域協議会会議運営に関する内規で、現在5人と定めているが、なぜ5人までなのかという問合せがあった。開かれた協議会として、それ以上の方が来ても対応できるように定員を増やすものである。

この会場の傍聴席は28席あるが、隣とのスペース等を考えて10人とする改正案である。

【高橋会長】

この件に関しては、ある団体の長から私の方にも話があった。以前は2階の会議室を使用していたこともあり、会場の大きさから定員を5人としていたものが、現在に繋がっているのではないかと思う。

ただ今の提案に、意見を求める。

【田辺委員】

定員を10人にするということは、これからずっとこの会場で行うということなのか、それとも、部屋が変われば、また改正するという考えなのか。

【金子所長】

会場予約の関係で、場合によっては以前の会議室もあり得るが、できるだけ多くの方から傍聴いただくこと、また、未だ皆がマスクをしている状況を考えると、この会場が適切かと思っている。

【松井委員】

私も同じような意見である。コロナ禍が終わろうとも、会場は広くても問題ない。そういった点を踏まえて10人という提案でよいと思う。

【高橋会長】

それでは、改正案のとおり、傍聴人の定員を10人とすることで決定してよいか。

(はいの声)

【高橋会長】

次、(2)三和区地域協議会だより発行に関する事項について、事務局の説明を求める。

【小山班長】

- ・資料No.2により説明。
- ・案1、案2として、現在作成中のたより（未定稿）と、参考に6月に発行したA4版のたよりを添付。

資料No.2、三和区地域協議会だより発行に関する事項の項目6.仕様等において、A4版の2頁で縦組、必要に応じて頁を増やすことかできると定めているが、今月発行予定のたよりをA3版で作成したところ、疑義が生じているため協議頂きたい。

案1は、従来通り、縦組、縦書き、右綴じを基本として作成したもので、新聞や広報と同じ仕様であるが、A3を開いたとき、2頁目は右側だが、中の表は横組横書きのため、視線が左に行ってしまい、非常に見にくいという意見があった。そこで、横組、横書き、左綴じにしたものが案2である。

今回、この案2の方が見やすいのではという意見があったことから、今回の12月発行から、6.仕様等の縦組を削除し、今後、A4版の場合も含めて、案2のように横書きにするか、それとも、今後も従来どおり縦組、右綴じを基本とした案1のままとするか、または、案3、記事に合わせて見やすいように適宜対応とするかを決定していただきたい。

ただし、案3については、記事に合わせて、見やすくするのはよいが、右綴じと左綴じが変わると、綴っていった時に不自然になってしまうので、そこも含めて、案1、案2、案3のどれにするか協議いただきたい。

なお、案1、案2のたよりは、どちらが自然なのかを参考に見ていただくために配付したものであり、まだ未定稿である。

【高橋会長】

ただ今の説明に、意見を求める。

【森委員】

案2が、一番自然に目が動き、見やすいと思う。縦書きにするなら、中の表も全部縦書きにしないと見づらいと思う。

【高橋会長】

私としては、案2が目の動き方として楽なのではないかと思う。

他にあるか。

【松井委員】

綴じ方とさまざまなレイアウトから案2がよいと思う。今回の編集委員3人とも、案2に賛成である。

また、編集委員名をたより上段の枠内に入れたのはよいと思う。

【池田委員】

いつも回覧で思うことだが、とにかく綴じる方向を統一していかないと、振り返った時に見にくくなってしまう。どっち綴じが多いのか、その辺を参考に決めていただければと思う。

【金子所長】

広報は、伝統的な縦書きが未だに定着しており、右綴じである。ただ、市で刊行する様々なチラシ、A4複数ページのものは、表等により皆さんに分かりやすくするという意味で、左綴じ、横書きが多い。

国は未だ公文書や法律等の改正時は縦書きであるが、例えば市の条例等の公文書は横書きで、数字も英数字になっているので、ほとんどの文書は基本的に左綴じ、横書きになっていると考えて頂いて結構かと思う。

【高橋会長】

それでは採決する。まず、案1に賛成の方は挙手願う。

(挙手なし)

【高橋会長】

次、第2案に賛成の方の挙手願う。

(挙手全員)

【高橋会長】

圧倒的多数により案2に決定する。

4 その他に入る。(1) 消防団の再編について、事務局の説明を求める。

【岩崎次長】

・資料No.3により説明。

この図面は、三和方面隊の消防小屋の配置図である。青いラインで里公、上杉、美守の3つの分団で消防活動をしている。

赤い丸、黒い丸、白い丸については、凡例で右下に表記してあるが、消防団が作った来年4月1日再編後の消防小屋配置案である。赤丸は活動拠点となる消防小屋で、再編した後も拠点として残る。赤丸の所が拠点になるが、黒丸の所にも消防ポンプや機材の一部を入れるということが残る。白丸については、消防ポンプ等も入れないため、消防団としては不要ということで町内会へ譲渡するか、町内会でも不要とした場合は、将来的に撤去することになる。

この図の見方としては、今、各分団で4つの消防部があるが、それを2つに統合・再編するということである。ちなみに、先月25日に町内会長の全体会議があり、そこでも同様に説明し町内会長の皆さんから了承をいただいている。

今後については、来年1月以降に上越消防団全体の会議でこの案が示され、正式に消防団として方針決定した後、市長に報告し、4月1日からこういった体制で活動する予定になっている。

【高橋会長】

委員から質問はあるか。

【松井委員】

団員総体の数値と団員の配置は、消防小屋の位置等の関係からどのようになっているのか。

【岩崎次長】

今、三和方面隊の団員数は約150人である。これを3で割ると各分団で約50人になる。その50人が2つの消防部になるため、1つの消防部が概ね25人前後で再編する形になる。例えば火災が発生しても、現行では50人で4つの消防部を構成し、1つの消防部10数人では出動も困難な状況になっていることから、消防部の数を4つから2つに再編することで、消防力を維持していこうという考えである。

【松井委員】

その団員配置において、消防小屋や器具置場が遠いという状況が一番の問題ではないかという気がする。美守分団は15の町内会があるが、例えば消防小屋のある錦に近いところに団員が大勢いるのか等、どういうところまで把握しているのか。人数が少ない上に、出動の際、遠くの消防小屋まで駆けつけるということ自体に問題はないのか。

【岩崎次長】

消防団の方で検討した留意点として、活動拠点となる消防小屋については、駐車場がある等集まりやすいところであること。そして、団員が駆けつける時に早く集まるといった観点で検討しているので、近くに団員がいるということも1つの要素になっているが、まずは、団員が集まりやすく、早く出動できるというところで活動拠点を決定している。

一方、団員が消防小屋から遠くなった場合については、火災が発生した場合、1人では危ないので、2人集まった時点で消防車を火災現場まで出動することとしている。遠くなった消防団員については、一旦、消防小屋まで来てから火災現場へ行くと時間がかかるので、直接その火災現場に向かい、現地で参集する。最低限4人集まると安全な消火活動ができるので、消防小屋に集まる団員と火災現場に直接向かう団員がいるといった出動体制としている。火災現場には団員全員が参集するため、方面隊全ての消防部員で協力し、どの消防ポンプ車でも操作できる体制で消火活動を行うので、その辺は安心していただいていると思う。

【高橋会長】

次に、2022年度第14回越後くびきの100kmマラソン三和区部会における部会員の推薦について、事務局の説明を求める。

【小山班長】

・資料No.4により説明。

1名の推薦で、部会は全4回程度を予定しているとのこと。

【高橋会長】

この大会は2年に1回ということで、2020年に予定されていたが、コロナの関係で中止になった。その時、協議会では江口委員にお願いしていた。私は江口委員にお願いしたいと思うがいかがか。

(異議なしの声)

【高橋会長】

それでは、江口委員にお願いすることとする。

次に、三和区青少年育成会議との意見交換について、資料No.5のとおり11月24日に実施した。この後の勉強会で、自主的審議事項等に繋げていくか検討したいと思うので、よろしくをお願いしたい。

その他、事務局、委員から何かあるか。

【小山田委員】

公共交通懇話会の委員となっており、11月29日に会議があったので報告させていただく。

去年は職務代理者で、今回、会長となった。会議の内容であるが、皆さんご承知のように、路線バスが少し縮小され、みんなの足が運用されているが、利用実績としては、毎年少しずつ減少傾向にあるというような報告であった。

みんなの足の利用者は、80代が一番多く、免許返納等によりお年寄りの方が使っているということである。私としては、やはり子どもや学生がもう少しバスに乗れるような形がよいと思うが、三和の場合は、皆さん元気でマイカーを持っておられるので、多分、親が送り迎えしているのだろうと思っている。ただ、私もそうだが、免許返納を考えなければならない時期が来るので、先を見据えてどのようになっていくのか、そういうことが課題ではないかと認識している。

【高橋会長】

小山田委員には期待している。よろしくをお願いしたい。

次、事務局から何かあるか。

【小山班長】

- ・NPO法人三和区振興会新春祝賀会の案内配付について

【高橋会長】

新市長も来賓として見えられるので、ぜひ皆さんに参加をお願いしたい。

【金子所長】

祝賀会はこの会場で行う予定になっている。例年、終了後、懇親会を行っていたかと思うが、感染防止のため今回は飲食はなしという形で、新年の賀詞交換的なものをして、解散という予定になっている。

【松井委員】

振興会新春祝賀会の件について、振興会の理事会で、案として40名という提案審議があったが、所長が言われたように飲食はなしという状況の下、従来どおり80人前後という形で最終的に決定されたのが今日の案だと思う。

【高橋会長】

他になければ、次回を開催日を決定する。事務局に説明を求める。

【岩崎次長】

- ・1月27日（木）又は28日（金）のいずれかで、開会時間は午後6時30分から。
- ・主な内容は、令和3年度地域活動支援事業活動報告会開催についての協議。

【高橋会長】

－日程調整－

- ・1月27日（木）午後6時30分からに決定。

以上で、本日の地域協議会を終了する。

【小林副会長】

－挨拶－

- ・この後、勉強会をグループごとに開催する。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-532-2323（内線215）

E-mail：sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。